

雜草種實の研究 第六報 菊科一

農學博士 近藤萬太郎

笠原安夫

本報告に於ては、菊科三種の雜草につきて、種實の形質を調査したる結果を記述せり。挿圖につきては村上、寺坂兩氏を煩はしたるもの數圖あり。又植物の鑑定につきては坪井近三氏を煩はしたる處大なり。茲に謝意を表す。

一、スマダイコン

Adenostemma viscosum F. OUST.



第一圖 スマダイコン 瘦果

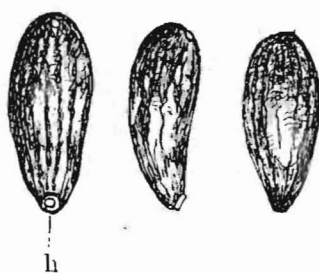
A…冠毛を看けたる瘦果
B…横斷面 (×17) (笠原)

瘦果は細長くして、上部は擴りて白色羽狀の冠毛を着く。下部に向ひ細くなる。果面は黑色にして淡褐色の粗毛を生ず。此瘦果は特殊の形をなす故に、識別せられ易し。

瘦果は長さ 1.27(1.1—1.4)mm、幅 0.47(0.4—0.5)mm、厚 0.36(0.3—0.4)mm、冠毛の長さは 1.1(1.0—1.5)mm なり。(第一圖)

二、カハラヨモギ、ネズミヨモギ、フナバハキ

Artemisia capillaris THUNB.



第二圖 カハラヨモギ

瘦果

h...臍 (×30) (笠原)

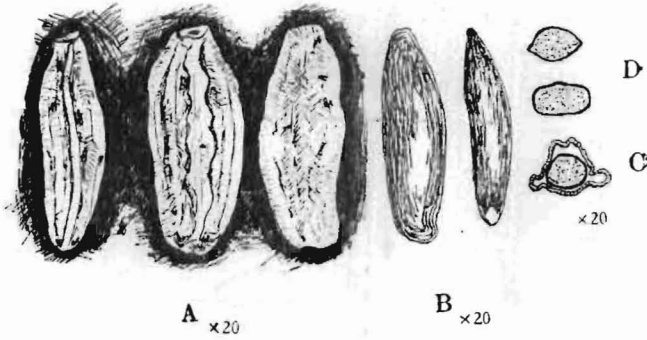
瘦果は倒卵形にして頂部は鈍圓形、基部は細くなりて彎る。濃茶褐色、表面に縦皺あり。又不明瞭なる横皺あり。基端に淡色の臍あり。
瘦果は長さ 0.82(0.7—0.9)mm、幅 0.44(0.38—0.48)mm、厚 0.35(0.3—0.38)mm なり。(第二圖)

三、ヨモギ

Artemisia vulgaris var. *indica* MAXIM.

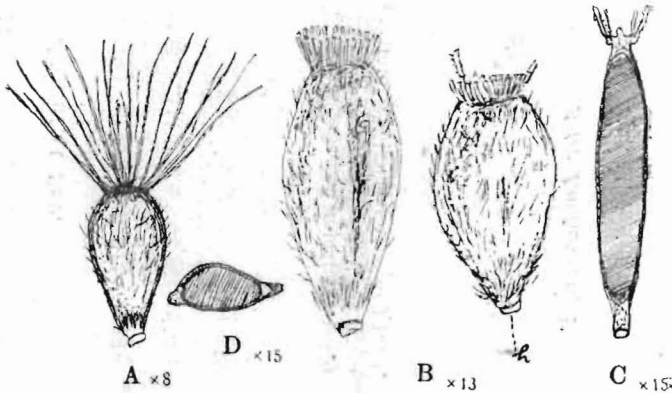
瘦果は冠毛を缺ぐ。銀白色、縦條並に皺ありて美はし。鈍三稜、稀に四稜なり。揉めば薄き果皮が破れて種子を出す。種子は扁平長卵形、紡錘形又は線形、茶褐色、縦に細かき波狀線を有す。その頂部並に基部は多少彎曲して鈍頭をなす。ヨモギの瘦果は、その果皮が銀白の薄膜の袋狀をなして、その中に種子の在るを特徴となす。

瘦果は長さ 1.6(1.5—1.8)mm、幅 0.7(0.5—0.9)mm、厚 0.5(0.4—0.6)mm なり。又種子は長さ 1.4(1.3—1.5)mm、幅 0.46(0.4—0.5)mm、厚 0.33(0.3—0.4)mm なり。(第三圖)



第三圖 ヨ モ ギ

瘦果及種子 A…瘦果 B…種子 C…瘦果の横斷面
D…種子の横斷面 (×20) (笠原)



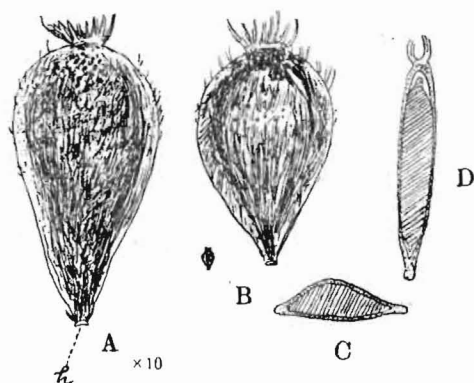
第四圖 ノ コ ン ギ ク

A…冠毛を着けたる果 (×8) B…冠毛を切りたる果 (×13)
C…果の縦斷面 (×15) D…果の横斷面 (×15) h…脰 (笠原)

四、ノコンギク

Aster agerutoides var. *adustus* NAKAI

syn. *A. trinervius* var. *congestus* FRANCH. et Sav.



第五圖 ヨ メ ナ

瘦果 A. B...全面 (×10) C...横断面

D...縦断面 h...脛 (笠原)

瘦果は茶褐色、扁平、長倒卵形、上端は截形、中央に凸起あり。下端は細くして脛あり。兩側に縁あり。横断面は橢圓形、全面に多毛、無柄冠毛を着く。冠毛は淡茶褐色、有刺、剛毛状にして、果に固着す。

瘦果は長さ 2.4(2.0—2.5)mm、幅 1.1(1.0—1.3)mm、厚 0.46(0.35—0.55)mm、冠毛の長さは 3.9(3.1—4.3)mm なり。(第四圖)

五、ヨメナ

Aster laevis FRANCH.

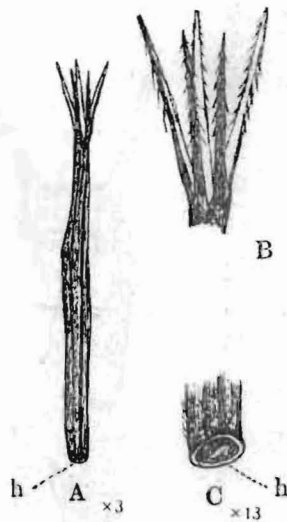
syn. *A. incisus* NAKAI

瘦果は扁平倒卵形にして、臍端は細く、二稜稀に三稜のものあり。上端には短き白色冠毛を生ず。兩側邊に縁を有す。果は茶褐色なるが、兩縁は淡色なり。全面は粗糙にして、白毛を散生す。臍は下端にありて、扁圓形なり。

瘦果は長さ3.1(2.6—3.6)mm、幅1.4(1.2—2.2)mm、厚ち0.7(0.45—1.35)mmなるが、試料によりては之よりも小なるものあり。又冠毛の長さは0.5mmなり。(第五圖)

六、センダングサ、キバナセンダングサ、キツネバリ

Bidens bipinnata L.



第六圖 センダングサ

A…瘦果(×3)
B…芒
C…臍端(×13)
h……臍 (笠原)

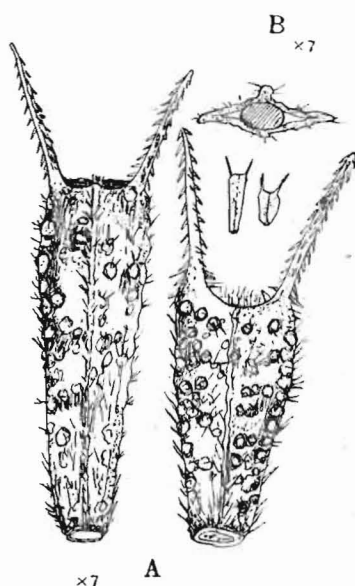
瘦果は黒褐色、四稜柱形にして、上端に逆鉤を備へたる芒を五稀に四を有す。之れ冠毛の代りなるべし。瘦果は全面に毛を生ず。四稜の間に一—三條の縦脈あり下端に臍あり。臍は丸みを帯びたる四角形にして淡褐色なり。頂端の芒の逆鉤毛によりて動物、人體等に附着して瘦果が傳播せらる。

瘦果の長さは芒の端までにて16—20mm、芒を除けば14—18mm、幅0.9mm、厚ち0.

8mm、芒の長さは瘦果全長の五分の一乃至六分の一なり。(第六圖)

七、コセンダングサ

Bidens pilosa L.



第七圖 コセンダングサ

瘦果 A…全果 (×7)
B…横断面 (×9) (笠原)

瘦果は茶褐色乃至黒褐色、扁平、線形、上部に擴り、下部に稍狭し。上端左右より二本の尖れる芒を出し、その長さは果長の三分の一乃至二分の一なり。芒には逆向の強き鉤毛あり。瘦果には兩側並に中央に稜(隆起線)ありて、果の横断面は扁平菱形をなす。果面には數多の疣狀突起を生ず。又全面に茶褐色の剛毛を密生す。果底に臍あり。人體及び動物

に容易に附着して廣く散布せらる。

タウコギの瘦果に似たれども、彼よりは一般に幅廣く、短く果面上に疣狀突起を數多生じ、茶褐色剛毛を有するが故に區別せらる。

瘦果は長さ(芒を除く)6.5—7)mm、幅2.6(2.0—2.9)mm、厚さ0.6(0.45—0.65)mm、芒の長さは2.9(2.0—4.0)mmなり。(第七圖)

八、タウコギ

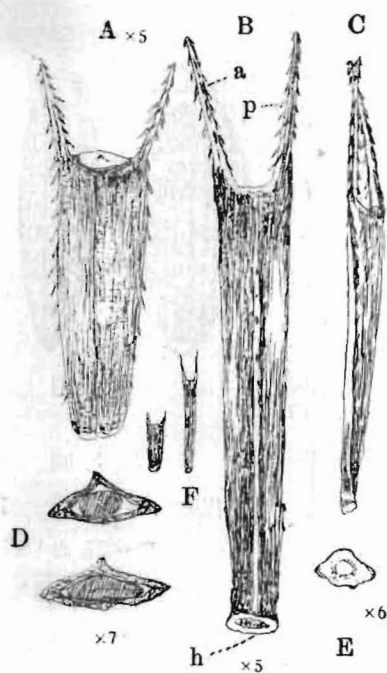
Bidens tripartita L.

Carduus crispus L.

九、ヤハズアザミ、ヒレアザミ、オニノマユハキ

瘦果は長さ(芒を除きて)3.2(4.7—12.5)mm、幅2.9(1.6—2.5)mm、厚0.7(0.6—0.9)mm、芒の長さは3.1(3.0—4.0)mmなり。(第八圖)

並に中央隆起線上に逆向鉤毛あり。基端に菱形の臍あり。逆向鉤毛によりて人體並に動物に着きて廣く散布せらる。果はコセンダングサに似たれども、色が淡く、細長く、果面に疣狀突起無く、逆向鉤毛を有すること等によりて識別せらるゝなり。



第八圖 タウコギ

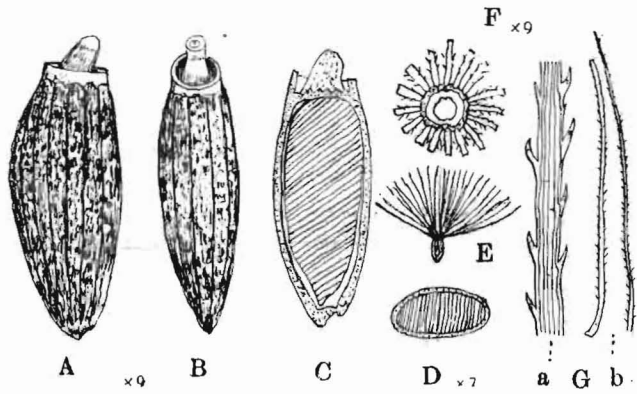
瘦果 A.B.C…瘦果(×5)

a…芒 p…逆向刺毛

D…横斷面(×7)

E…臍(×6) h…臍(笠原)

瘦果は濃茶褐色、扁平、線形、上部は少し擴る。頂端の左右より二本稀に三本の長き芒を出す。その長は果長の約三分の一乃至五分の一なり。逆向鉤毛を生ず。瘦果の兩縁並に中央に隆起線ありて、横斷面は不正菱形なり。兩側縁



第九圖 ヤハズアザミ

瘦果 A…扁平面 B…側面 C…縦断面 (×9)
D…横断面 (×7) E…冠毛を附着したるもの (×1)
F…冠毛の根本の環狀 (×9) G…冠毛 a…(×60)
b…(×9) (笠原)

瘦果は稍扁平長卵形にして、多少彎る。頂部は截頭にして、中央に太き嘴狀突起あり。冠毛が根元に於て環狀に合着して、嘴狀突起の周圍に附着す。瘦果の基端は細くなりて、基底側面に臍あり。臍は凹入す。果面は有澤、淡茶褐色にして、一四、五條の縦線あり。全面に美しき小波紋あり。冠毛は銀白色にして、剛毛狀、その表面に小刺毛を生ず、冠毛は脱落し易し。

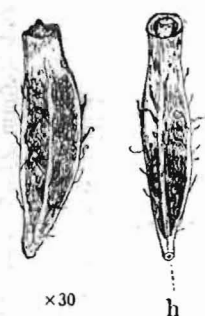
瘦果の長さは3.9(3.7—4.1)mm、幅1.7(1.6—1.8)mm、厚さ1.1(1.0—1.2)mm、冠毛の長さは12(9—15)mmなり。(第九圖)

一〇、トキンサウ、ハナヒリグサ

Centipeda minima O. Kuntze.

瘦果は微細粒、細長くして、稍々彎曲、四稜形、先端は截頭、中央に微突起あり、基端は尖る、粒は茶褐色なるが、兩端は黄褐色、表面に微斑紋あり。稜上に鬚毛を生ず。稀には果面にも毛あり。冠毛無し。

瘦果は長さ1.0(0.8—1.2)mm、厚さ0.28(0.24—0.36)mmなり。(第一〇圖)



第一〇圖 トキンサウ
瘦果 (×30) h... 脛
(笠原)

瘦果は濃茶褐色、扁平、紡錘形又は披針形、縦に八、九條の溝(又は稜)あり。少しく毛を生ず。冠毛は無柄にして、白絹絲狀、有刺、果頭に固着す。

瘦果は長さ1.8(1.6—2.0)mm、幅0.49(0.4—0.5)mm、厚さ0.3(0.25—0.31)mm、冠毛の長さは3.4(2.9—3.5)mmなり。(第一一圖)

一一、タカサブラウ

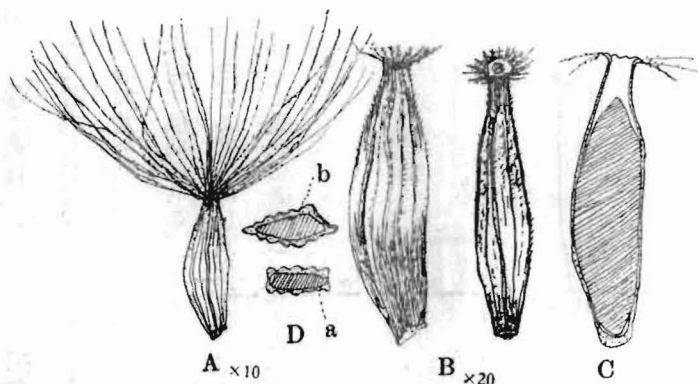
Ectopha alba Hassk.

瘦果は茶褐色、二稜、扁平、角立ちたる長橢圓形、下端に狭

雜草種實の研究 (第六報) 菊科一

一一、オニタビラコ

Oreopis japonica Benth.

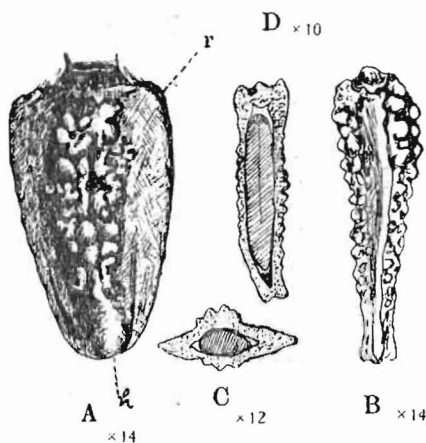


第一一圖 オニタビラコ

瘦果 A...冠毛を着けたる瘦果 (×10) B...瘦果 (×20)

C...縦断面 D...横断面 a...基部 b...中央部

(笠原)



第一二圖 タカサブラウ

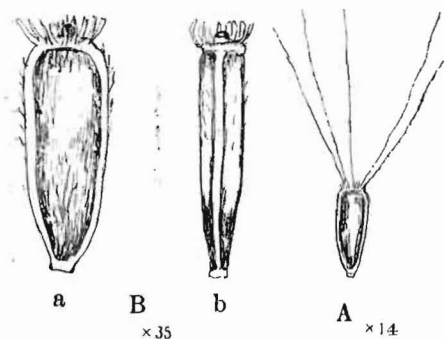
瘦果 A…瘦果の全面 (×14)
 B…瘦果の狭側面 (×14)
 C…横断面 (×12) D…縦断面 (×10)
 h…臍 r…稜 (村上、笠原)

瘦果の大きさは長さ 2.8(2.6—3.0)mm、幅 1.5(1.4—1.7)mm、厚 0.4—0.6mm なり。(第一二圖)

一二、ヒメヂヨラン、イヌヨメナ

Erigeron annuus Pers.

瘦果は淡茶褐色、扁平、倒長卵形、上部は幅廣く、上端中央



第一三圖 ヒメヂヨラン

瘦果 A…全體 (×14)
 冠毛は脱落し少數を残す
 a…扁平面 b…側面 (×35) (笠原)

く上端は廣し。表面に數多の疣狀の突起あり。上端は截頭なれど、二短針及び毛を生ず。冠毛なし、下端に臍あり。瘦果は特異の形質を有するが故に容易に識別せらる。

種子は黒色にして長橢圓形、果の隆起部に當る中央は線狀に隆起し、表面に小なる横皺多し。

に突起あり、左右兩側縁は幅廣し。白毛を疎生す。上端に白色の長き冠毛を生ずるも、散落し易し。

瘦果は長さ $0.95(0.75-1.1)$ mm、幅 $0.32(0.27-0.38)$ mm、厚 $0.2(0.17-0.22)$ mm、冠毛の長さは $1.7(1.5-2.1)$ mm なり。ヒメデヨラン、アレチノギク及びヒメムカシヨモギの瘦果は相似たれども、次の點によりて區別し得べし。

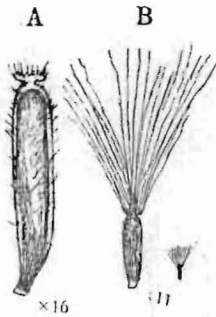
アレチノギクは狭長く、一側に少しく彎曲し、果面に毛多し。冠毛は淡茶褐色にして長し。

ヒメムカシヨモギの瘦果は前者より短く、割合に幅廣し。冠毛は果實の二倍長にして淡黄白色なり。

ヒメデヨランはヒメムシカヨモギと同長又は以下なれども、頭部廣し。中央凸出して、兩縁幅廣し。冠毛は白色散落し易し。(第一三圖)

一四、アレチノギク

Erigeron linifolius Willd.



第一四圖 アレチノギク

瘦果 A…冠毛を去りたる瘦果
($\times 16$)

B…冠毛を着けたる瘦果
(笠原)

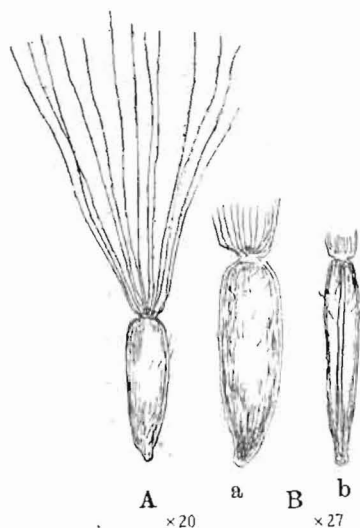
瘦果は細長く、扁平、線形、一側に僅かに彎曲し、淡褐色、兩側に縱縁あり。全面に毛を生ず。冠毛は茶褐色又は白色、有刺にして長く、果長の約二倍半あり。

瘦果は長さ $1.5(1.4-1.55)$ mm、幅 $0.35(0.3-0.4)$ mm、厚 $0.13(0.08-0.15)$ mm、又冠毛の長さは $3.8(3.5-4.0)$ mm なり。

(第一四圖)

一五、ヒメムカシヨモギ

Erigeron canadensis L.



第一五圖 ヒメムカシヨモギ

瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果(×20)

B…冠毛を去りたる瘦果(×27)

a…側面 b…狹側面 (笠原)

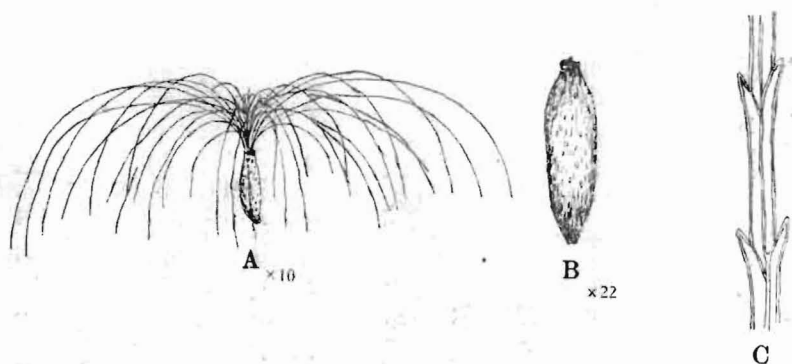
瘦果は扁平線形、頂端截形、基端は尖り、その所に臍あり。淡茶褐色、全面に白毛を生ず。冠毛は固着、淡黄白色、有刺、果の二倍長なり。

瘦果は長さ 1.0(0.9—1.25)mm、幅 0.3(0.25—0.35)mm、厚さ 0.17(0.14—0.22)mm、冠毛の長さは 2.3(1.9—2.7)mm なり。(第一五圖)

一六、チチコグサ

Gnaphalium japonicum THUNB.

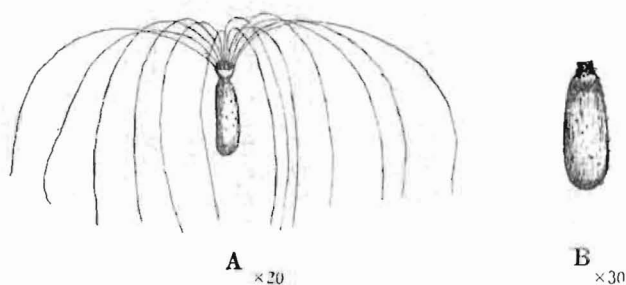
瘦果は微細粒、扁平紡錘形、頂部に微凸起あり。茶褐色、全面に白色刺毛(或は鱗毛)を疎生す。このものは觸るれば脱落し易し。冠毛は長き白絲狀にして、多數に生ずるが脱落し易し。冠毛に刺狀突起あり。



第一六圖 チ チ コ グ サ

瘦果 A…冠毛を着けたる全果 (×10) B…瘦果 (×22)

C…冠毛の一部擴大 (村上)



第一七圖 ハ ハ コ グ サ

瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果 (×20)

B…冠毛を失ひたる瘦果 (×30) (村上)

瘦果は長さ 0.86(0.80—0.86)mm、幅 0.26(0.22—0.29)mm、厚さ 0.18(0.16—0.21)mm、冠毛の長さは 3.3(2.9—3.5)mm なり。(第一六圖)

一七、ハハコグサ

Graphium multiceps WALT.

瘦果は微細粒、茶褐色、長卵形乃至線形、鈍頭にして微突起なし。全面に白色鱗毛を疎生す。冠毛は黄白色、絲状なるが、チチコグサの冠毛よりは太し。刺を生ず。

瘦果は長さ 0.52(0.5—0.7)mm、幅 0.19(0.18—0.22)mm、厚 0.17(0.14—0.20)mm、冠毛の長さは 1.37mm なり。果全體がチチコグサに比して小なり。又冠毛も短く且つ黄色を帯ぶるを以て區別せらる。(第一七圖)

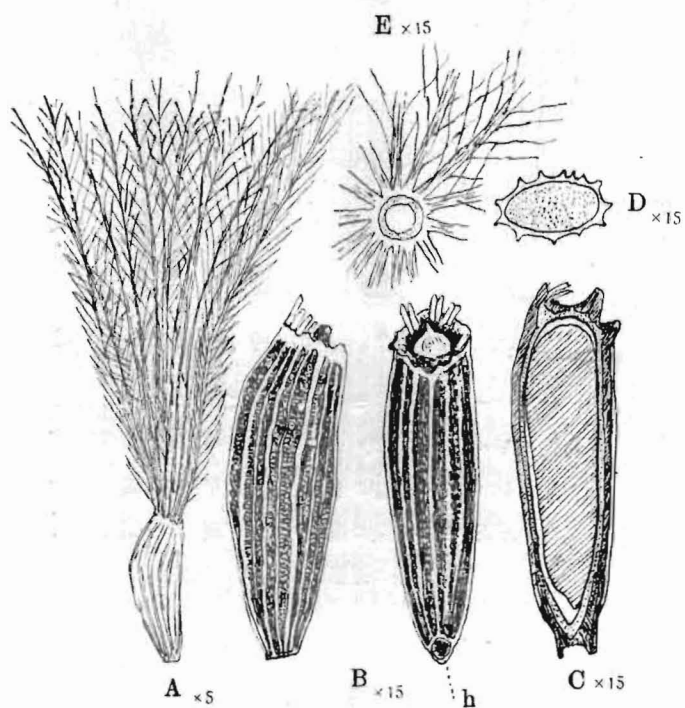
一八、キツネアザミ、ヒメアザミ

Hemistepha carthamoides O. KUNTZE

SYN. *Saussurea affinis* SPRENG.

瘦果は茶褐色、稍扁平、不正倒卵形、少し彎曲、頂部は截形、中央に突起あり。基端は細く、その所に臍あり。果の横断面は橢圓形なり。縦に十數條の隆起線あり。全面に細かき斑紋あり。冠毛は極めて長く、果長の四—五倍にして、白色、分枝して鳥の羽毛の如し。冠毛は離れ易し。冠毛は根元に於て癒着して環狀をなし、果頂の凸起の周圍に蔽入す。瘦果は長さ 2.8(2.6—3.1)mm、幅 1.0(0.8—1.1)mm、厚 0.7(0.6—0.85)mm、冠毛の長さは 12(11—14)mm なり。

(第一八圖)

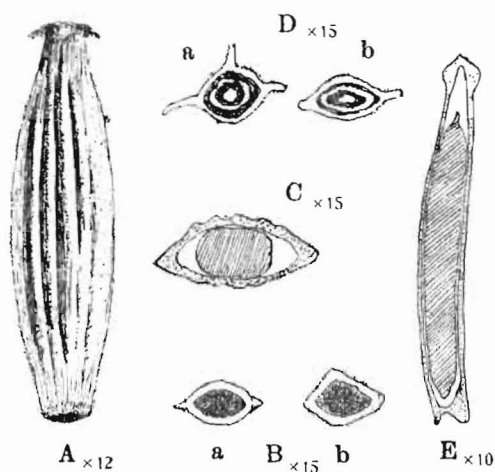


第一八圖 キツネアザミ

瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果 (×5) B…冠毛を去りたる果
 h…臍 C…縦断面 D…横断面 E…冠毛の根元
 B-E (×15) (笠原)

一九、コオニタビラコ

Lapsana apogonoides MAXIM.



第一九圖 コオニタビラコ

瘦果 A…瘦果 (×12) B…側 a…扁平なるもの b…四稜のもの C…扁平瘦果の横断面 D…瘦果の頂端 a…三稜 b…扁平 E…瘦果の縦断面 (×10) (笠原)

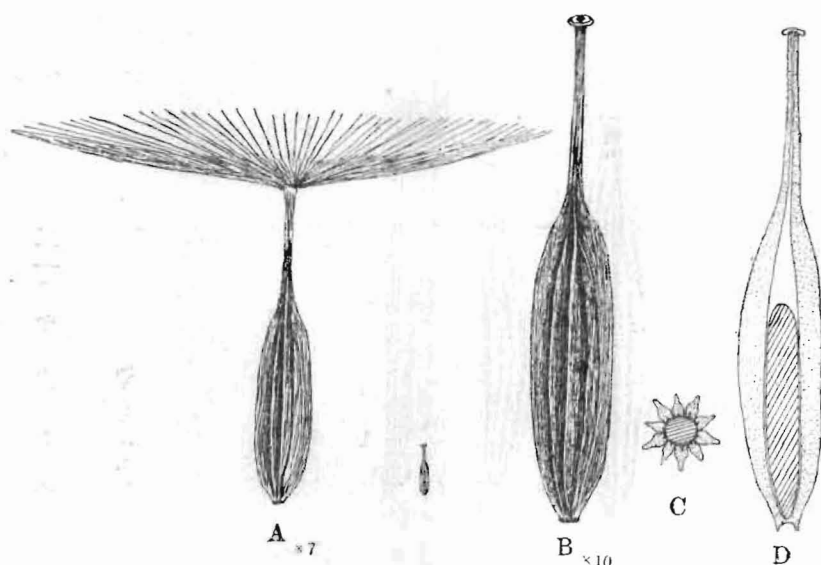
二〇、デシバリ、ツルニガナ、オホデシバリ

Lactuca debilis BENTH. et Hook.

瘦果は黄褐色、扁平線形、両端は截頭、縦に一〇—一五條の溝(又は稜)あり。三四稜が特に隆起するものあり。全面に短毛を密生す。冠毛を缺ぐ。

瘦果は長さ 4.6(4.5—5.1)mm、幅 1.3(1.1—1.4)mm、厚さ 1.0(0.7—1.2)mm なり。

(第一九圖)



第二〇圖 オ ホ ズ シ バ リ

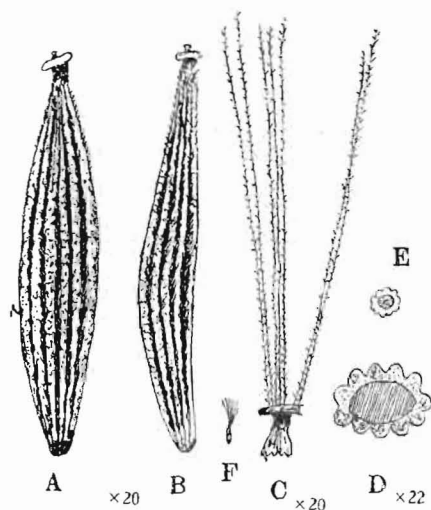
瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果 (×7) B…冠毛を失ひたる瘦果 (×10)
C…果の横断面 D…果の縦断面 (村上)

瘦果は披針形、上部は喙狀に細長く伸び、頂端に白色の長冠毛を着生す。果は濃茶褐色にして、縦に約一〇條の鱗狀の稜あり。(或は溝とも云ふべし)。果の横断面は星狀をなす。果面は無澤粗糙なり。

瘦果は長さ(喙狀部を除く)4.1(3.5—4.7) mm、幅0.9(0.8—1.1) mm、厚0.8(0.6—0.9) mm、喙狀部の長さは1.7(1.0—2.5) mm、冠毛の長さは6.5(5.0—7.5) mmなり。(第二一〇圖)

二一、ヤクシサウ

Lactuca denticulata var. *typica* MAXIM.



第二一圖 ヤクシサウ

瘦果 A…背面 B…側面 (×20)

C…冠毛 (×20)

D…瘦果の横断面 (×22)

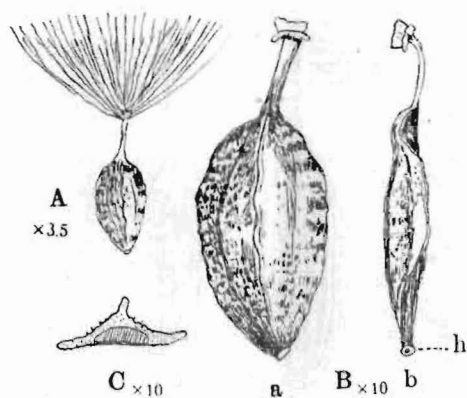
E…冠毛 F…自然大 (笠原)

瘦果は黒褐色、紡錘形、上部細く多少彎曲す。果面に八一〇條の縦に稜あり。(或は溝か)。果面は多刺毛、粗糙、冠毛は白色、有刺、太く脱落し易し。

瘦果は長さ3.0(2.6—3.4)mm、幅0.64(0.6—0.7)mm、厚さ0.5(0.45—0.6)mm、冠毛の長さは3.1(2.5—3.5)mmなり。(第二二圖)

二二、アキノノゲシ

Lactuca laciniata Maxim.

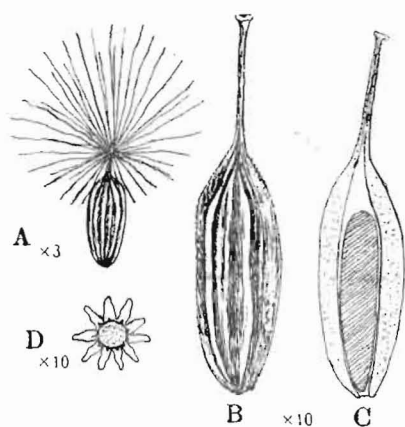


第二二圖 アキノノゲシ

- 瘦果 A…冠毛を着けたる果 (×3.5)
 B…冠毛を去りたる果 (×10)
 a…側面 b…狭側面 h…脐
 C…果の横断面 (×10) (笠原)

瘦果は黒色、扁平、長楕圓形、頂端は伸びて喙狀體をなし、冠毛を着く。基端に脐あり縦に三翅を備へ特異の形なり。その横断面は三角形をなす。全面無毛なるが、微細なる斑紋あり。冠毛は離脱し易く、白色絲狀なり。喙狀體は淡黃色なるが、果より切れて落ち易し。喙狀體が脱落すれば、果は尖頭となる故に、冠毛の柄と見做すことを得。

瘦果の長さは(喙狀體を除く) 3.4(3.0—3.7)mm、幅 1.7(1.5—2.0)mm、厚 0.6(0.45—0.8)mm、喙狀體の長さは 1.0(0.8—1.4)mm、冠毛の長さは 6.8(6.5—7.5)mm なり。(第一二圖)



第二三圖 ノ ニ ガ ナ

瘦果 A…瘦果の全體 B…瘦果

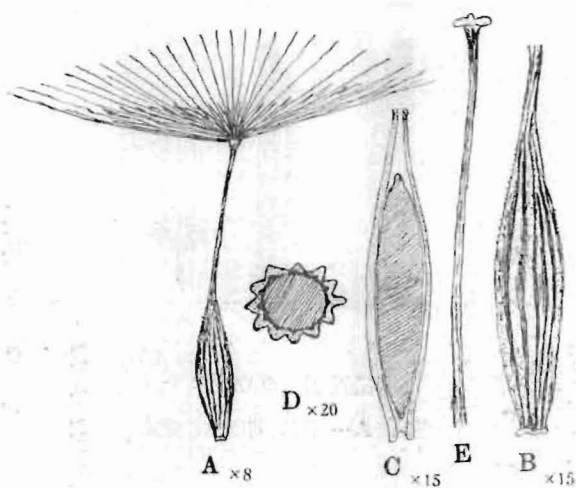
C…縱斷面 D…橫斷面

A…(×3)

B-D(×10) (笠原)

瘦果は茶褐色にして紡錘形をなす。其上端は果長の二分の一の長さに線狀に長く伸び、長く白き冠毛を叢生して、風に吹かれて果は容易に飛散す。果の表面に約二〇條の鱗狀のもの縱に生ず。よりて果を横斷すれば星狀をなす。瘦果はデシバリに似たれど、彼よりは短く、幅稍廣く、淡色なり。

瘦果は長さ3.1(2.5—3.5)mm、幅1.1(0.9—1.2)mm、厚さ1.0(0.9—1.1)mm、冠毛の長さ4.0(3.7—4.5)mm、果の先端部の長さは1.2—1.6mmなり。(第二三圖)



第二四圖 イハニガナ

- 瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果 (×8)
 B…冠毛を去りたる果 (×15)
 C…果の縦断面 (×15)
 D…果の横断面 (×20) E…嘴狀部 (笠原)

二四、イハニガナ、ヒメヂシバリ

Iactuca stolonifera Benth. et Hook.

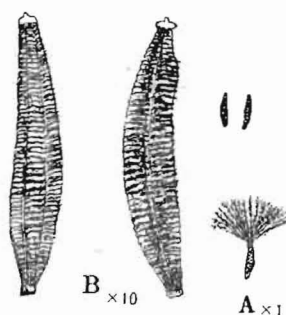
瘦果は赤褐色、紡錘形、上部は長く伸びて嘴状をなす。その先端に白色傘形の冠毛を着く。瘦果の表面には縦に數本乃至一二、三本の隆起線(或は溝)あり。その上に微刺毛を生ず。尙果面には微凹凸あり。

オホヂシバリの瘦果に比すれば、イハニガナの瘦果は嘴狀部が果體の割合に著しく長きこと、瘦果の微小なること、果面の縦溝が浅きこと等によりて區別せらる。

瘦果は長さ(嘴狀部を除く) 2.6(2.2—2.8)mm、幅 0.5(0.4—0.7)mm、厚 0.5(0.4—0.7)mm、嘴狀部の長さは 3.3(2.4—4.0)mm、冠毛の長さは 5.6(5.0—6.5)mm なり。(第二四圖)

二五、カウゾリナ

Picris hieracioides L. var. *japonica* RECHL.



第二五圖 カウゾリナ

瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果 (×1)
B…冠毛を去りたる果 (×10) (笠原)

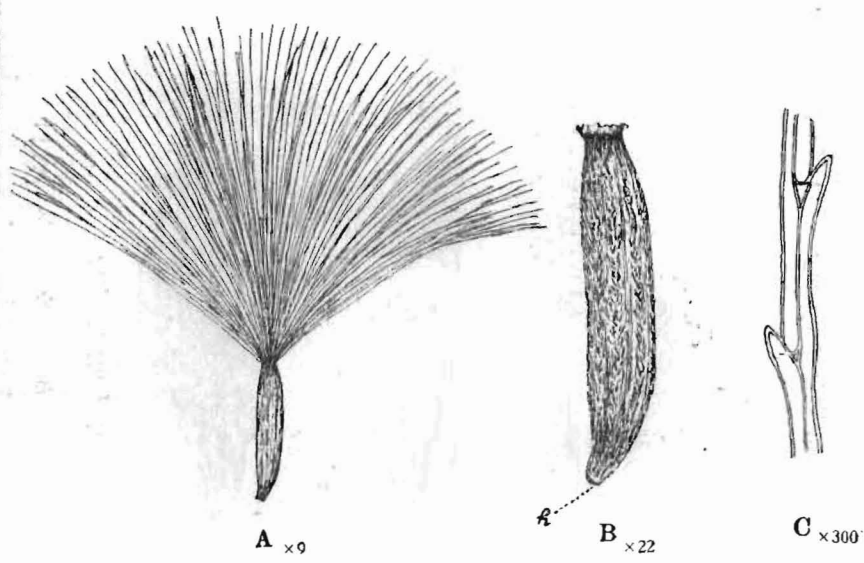
瘦果は細長くして紡錘形をなし、多少彎曲す。黄褐色、有澤、美しき横襞を有す。冠毛は白色羽毛狀、長くして小枝を生じ、果長よりも少し長し。無柄にして果頂より離れ易し。臍は基端にあり。

瘦果は長さ4.2(3.8—4.7)mm、幅0.7mm、冠毛の長さは6mmなり。(第二五圖)

二六、ノボロギク

Senecio vulgaris L.

瘦果は淡茶褐色、圓柱形、細長く、少しく彎曲す。表面には約一條の隆起せる縦線あり。その縦線は黄色に見へ、白き短毛を密生す。兩端は少しく細くなり、臍端は特に細し。上端には美しき銀白冠毛を多數に着くれど離れ易し。冠毛には短刺毛あり。臍は圓形又は四角形にして紫色を呈す。



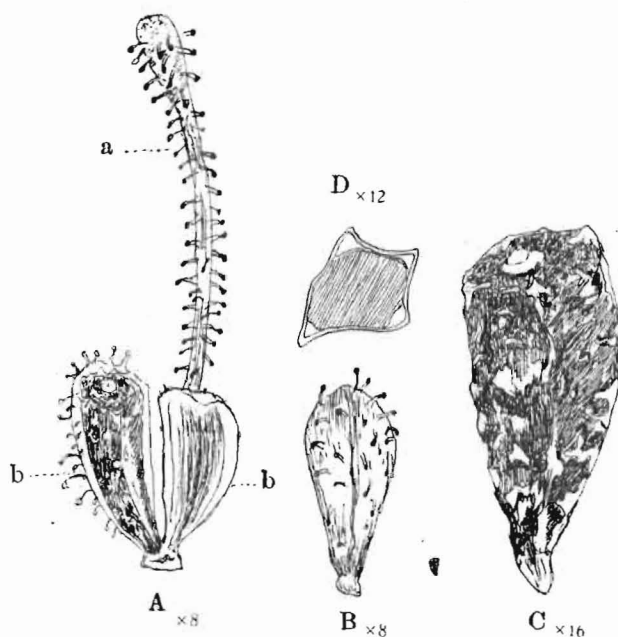
第二六圖 ノボロギタ

瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果 (×9) B…冠毛を去りたる瘦果 (×22)
C…冠毛 (×300) h…脚 (村上)

瘦果は長さ 2.3 (2.1—2.5) mm. 幅厚と共に 0.3—0.4 mm.
冠毛の長さは 3.8—5.5 mm な
り。(第二六圖)

二七、メ ナ モ ミ

Siegesbeckia pubescens MAKINO



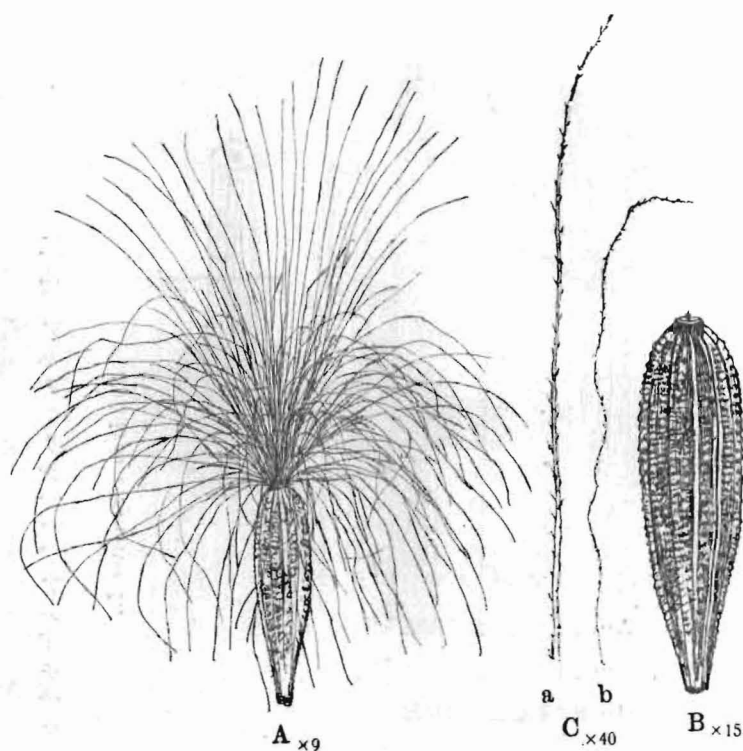
第二七圖 メ ナ モ ミ

瘦果 A…總苞及苞を着けたる瘦果 a…總苞 b…苞 (×8)
B…苞片 (×8) C…瘦果 (×16)
D…瘦果の横断面 (×12) (笠原)

9—1.2)mm、總苞の長さは6.2—9.5mm、苞片の長さは瘦果と同長なり。(第二七圖)

瘦果は苞片にて半ば包まる。又長き筈形の總苞片を着けることあり。瘦果は黒色、多少彎曲し、四—五稜を備へたる不正倒卵形、花柱の殘物を着くる事あり。頂部は截頭、基端は細くして曲る。粒面に微細なる斑紋ありて粗糙なり。冠毛無し。臍は基端にあり。總苞片並に苞は共に粘着腺毛を生じ、傳播の用をなす。一種特異の外觀を有する故に識別せらる。

瘦果は長さ2.7(2.5—3.2)mm、幅1.2(0.9—1.3)mm、厚1.1(0.



二八、ノゲシ、ケシアザミ、ハルノノゲシ、苦菜

第二八圖 ノ ゲ シ

瘦果 A…冠毛を着けたる全果 (×9) B…冠毛を失ひたる瘦果 (×15)
C…冠毛 (×40) (村上)

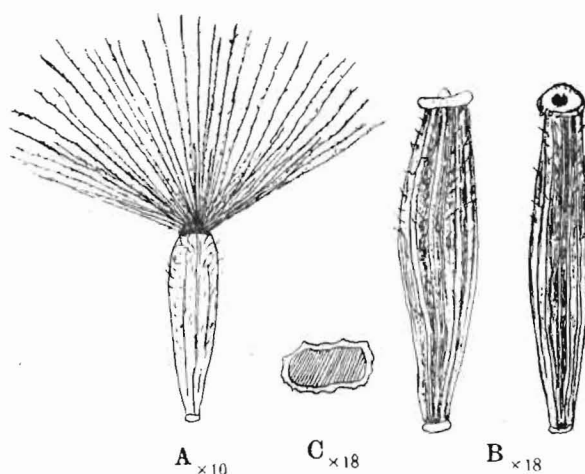
Sonchus oleraceus L.

瘦果は扁平倒長卵狀線形、茶褐色、全面に縦に數多の筋(溝)及び横に皺あり。短刺毛を生ず。粗面にして光澤無し。頂端には小突起あり。基部は細し。冠毛は綿毛にして長くして柔かなり。微小なる突起を有す。

瘦果は長さ3.3(2.8—3.4)mm、幅0.9(0.75—1.0)mm、厚0.3(0.25—0.37)mm、冠毛の長さは5—8mmなり。(第二八圖)

二九、アキノキリンサウ、アハダチサウ

Solidago virgaurea L.



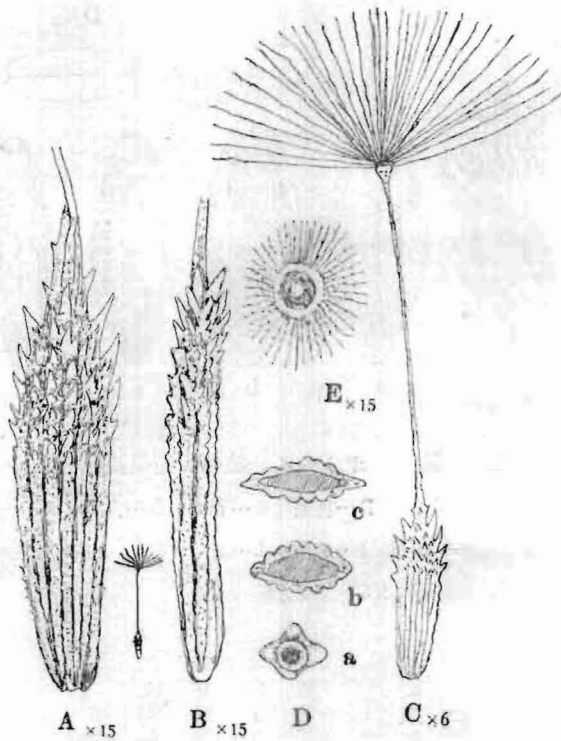
第二九圖 アキノキリンサウ

- 瘦果 A…冠毛を着けたる瘦果 (×10)
 B…冠毛を去りたる果 (×18)
 C…果の横断面 (×18) (笠原)

瘦果は茶褐色、扁平紡錘形、截頭、下端は細くなりて、そこに脐あり。果面に縦に數條の脈を有し、毛を生ず。冠毛は無柄にして、頂端に着生し、離れず。黄白色にして刺毛あり。

瘦果は長さ2.5(2.4—2.8)mm、幅5.2(4.0—6.0)mm、厚み4.6(3.5—5.5)mm、冠毛の長さは3.1(2.6—3.4)mmなり。(第二九圖)

Taraxacum platycarpum Dahlst.



第三〇圖 タンボボ

瘦果 A・B…冠毛を去りたる瘦果 (×15)

C…冠毛を着けたる果

D…横断面 a…側 b…中央 c…上部

E…冠毛の基部 (×15) (笠原)

瘦果は濃茶褐色、稍

扁平紡錘形、上部は長

く伸びて柄になり、上

端に白色冠毛を着く。

瘦果には各面に縦に五

脈、稀に八脈(總數一

二—一八)の隆起線あ

り。又果の上半部には

刺狀突起を生ず。頂端

の柄は長くして、果長

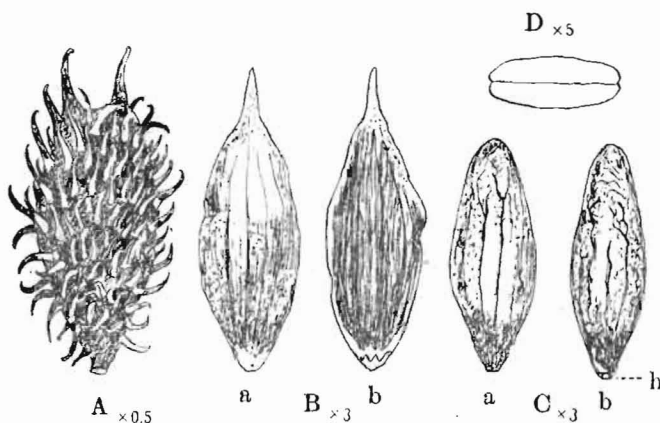
の二—三倍に達す。そ

の柄には毛あり。瘦果

の横断面を見れば、基部は菱形、中央部は橢圓形、先端部は扁平なり。基底に臍あり。

瘦果は長さ(柄を除く)4.3—4.0—4.6mm、幅1.0(0.9—1.1)mm、厚さ0.6(0.45—0.75)mm、柄の長さは1.6(1—2)mm

冠毛の長さは 5.6(5.5—7.0)mm なり。(第三〇圖)



第三一圖 オナモミ、總苞、瘦果及種子

A…總苞 (×2.5) B…瘦果 a…背面 b…内面 (×3)
C…種子 a…背面 b…腹面 h…脐 (×3)
D…種子の横断面 (×5) (笠原)

三二、オナモミ

Xanthium Strumarium L.

革質の堅固なる總苞にて瘦果二個を包む。その總苞には鉤刺毛を密生し、上端に二嘴狀突起を備ふ。總苞果は卵形茶褐色なり。瘦果は黑色有澤、扁平、紡錘形、外面は少し隆起して縦に四脈を有し、内面は窪みて五脈あり無毛。果皮は離れ易し。果皮の内面には白膜を着く。種子は扁平、長橢圓形、黄綠色にして、不明瞭なる脈及び縦皺を有し、基部は稍尖りて、基端に脐あり。

總苞のまゝにては長さ 16(14—19)mm、横徑 13(11—14)mm、瘦果は長さ 12—13mm、幅 4.0—4.7mm、種子は長さ 9.0(8.5—9.8)mm、幅 3.5(3.2—3.9)mm、厚さ 1.4(1.2—1.6)mm なり。(第三二圖)